

平成28年度 宮城県佐沼高等学校定時制課程「志教育」年間指導計画

3つの視点																				
かかわる			もどめる			はたす			かかわる			もどめる			はたす					
各教科指導目標	国語	○	○	○	地理歴史	○	○	○	公民	○	○	○	数学	○	○	○	理科	○	○	○
	(1) 読むことを通じて、人間、社会、自然などについて考察する。(主に現A、国総) (2) 積極的に話し、聞き、書く活動を通じて、社会生活の充実をはかる態度を養う。(主に国表、国総)				日本及び世界の相互形成の歴史的過程と地域的・空間的認識についての理解を深める。				倫理・社会・文化・政治・法・経済・社会・国際社会にかかわる現代社会の諸課題を考察させ、理解を深める。				論理的な思考に触れさせ、順序立てて物事を表現する態度を育てる。もの見方考え方を身に付ける。				自然の事象に関する知識に触れて興味を持たせる。環境の保護についての姿勢を涵養する。			
	保健体育	○	○	○	芸術	○	○	○	外国語	○	○	○	家庭	○	○	○	情報	○	○	○
	主体的な経験を通し、心身の健康の維持・向上とマナーやルールを守り集団生活に必要な協調の態度の大切さを学ばせる。				作品の製作を通して様々な手法による自己の表現を体験し、情操面の向上を図る。				外国語によるコミュニケーションによる自己の表現を発信する姿勢と異文化を吸収しようとする意欲を持たせる。				日常生活に必要な知識を身に付けさせ、健康な生活ができるようにする。				情報化社会で生きるために、マナーとモラルを守り適切に情報を処理できる能力を養う。			
	学年共通目標													○	○	○				
商業	○	○	○	① 人間関係の大切さを理解させ、信頼しあえる学級集団づくりや仲間作りに努める。												○	○	○		
社会・職業との関連を意識し、日常生活で使用する商取引などの基本的知識や会計処理の基礎を身に付けさせ、四則演算の計算力向上を図る				② 将来の職業と学習との関わりを理解させ、学習や体験活動に取り組みさせる。												○	○	○		
				③ 在学中から就業を積極的に促し、社会の一員としての自覚をもたせる。												○	○	○		
各学年指導目標																				
1年	・好ましい人間関係をつくり、新しい生活環境に適応し、生活のリズムを確立させる。 ・高校生活に臨む基本的態度を身につけさせる。 ・社会人として必要な基本的な礼儀等について知り、それを身につけさせる。 ・自己理解をすすめさせ自分の適性について考えさせる。																			
2年	・就業者には仕事と学習を両立させ、具体的経験の中で勤労を尊ぶ姿勢を身につけさせる。 ・基礎学力の向上のため、より積極的に学習に取り組む態度を身につけさせる。 ・集団の中で自分の果たすべき役割について考えさせ、他者と協調していく姿勢を育成する。																			
3年	・自発的な学習態度を身につけさせ、自己の能力をより高めようとする姿勢を身につけさせる。 ・職業観・公共心を育成し、将来の職業についてより具体的に考えさせる。 ・進路希望達成のために取り組むべき課題を知り、取り組ませる。																			
4年	・就職・進学に関する情報等を積極的に収集し、卒業後の進路を自ら決定する。「前に踏み出す力」の充実を図る。 ・特に学習活動等を通じて、「考え抜く力」の一層の伸長を図る。 ・特に諸行事を通して「チームで働く力」、リーダーシップ、フォロワーシップの伸長を図る。																			
時期	学年	行事	目 標													かかわる	もどめる	はたす		
4月	全	個人面接	生徒個人の理解と担任との信頼関係を築くことを第1の目標としつつ、安定した学校生活が送れるように助言する。また、進路希望や学校生活の目標を決めるように促し、その達成のための具体的行動について考えさせる。													○	○	○		
6月	全	進路講話	外部講師による就職活動や社会人としての心構え等に関する講話を聞く。卒業学年には、ハローワーク職員の講話を通し就職活動についての具体的に準備を始めさせ、1～3学年生には将来に備えての生活の心構えを持たせる。													○	○	○		
7月	1～3年	就業体験	就業体験のない生徒に就業を経験させ、健全な勤労観の育成を図る。													○	○	○		
9月	全	生活体験発表会	自らを見つめ、また表現することで自己確認と自己受容を促し、精神的成長を図る。また、他の生徒の発表を聞くことにより他を受け入れる態度や共感の態度を養う。													○	○	○		
11月	全	進路見学会	企業・文化施設・上級学校等の見学をすることにより視野を広め、また、進路を選択するための情報を集め、将来の職業選択に役立てる。														○			
12月	全	卒業生講話	卒業生の具体的な社会体験を聞くことにより、自分の進路についてより具体的な考えを持たせる。													○	○			
1月	1～3年	進路決定者の話を聞く	1～3年生に対し、内定者の率直な体験と自分との違いを発見させ、とるべき行動について考えさせる。													○	○			
通年	4	作文・面接指導	作文や面接練習を通して自己表現への対応の練習をさせ、自己PRの方法を身に付けさせ、進路希望達成に役立てる。														○	○		